

「就職・キャリアセンター」の取組みについて

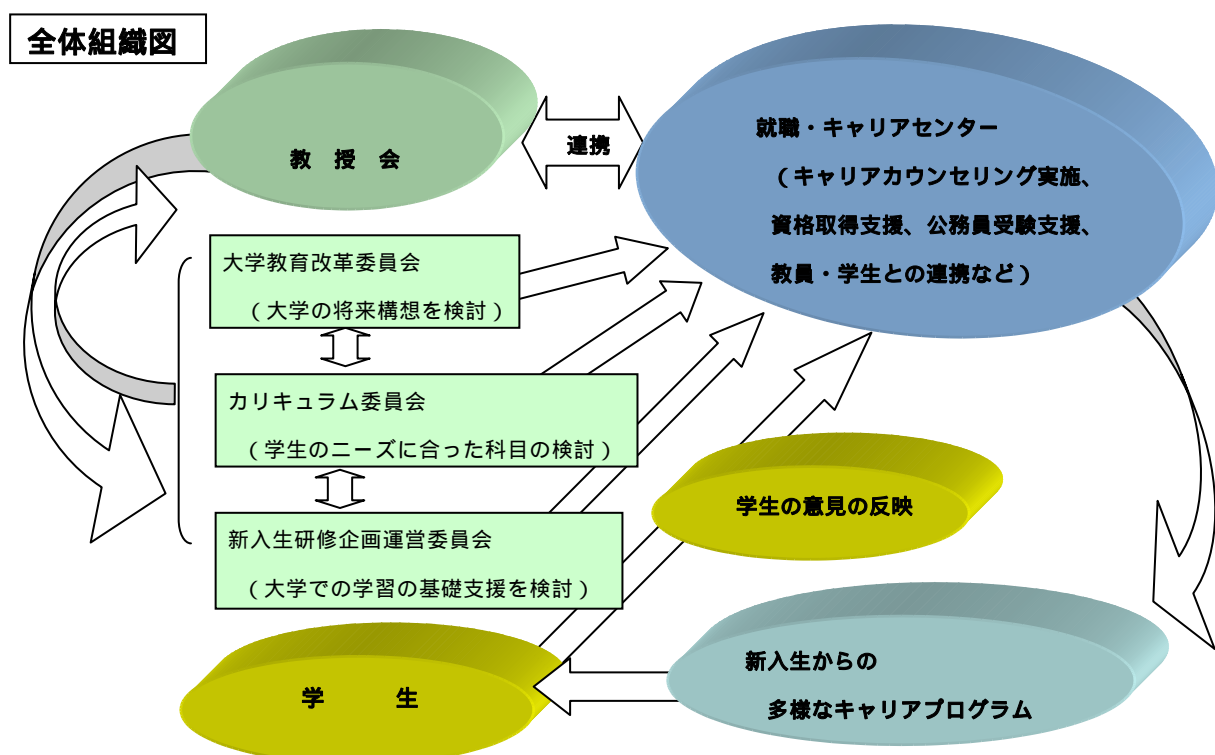
山梨学院大学

就職・キャリアセンター 課長 土橋久忠

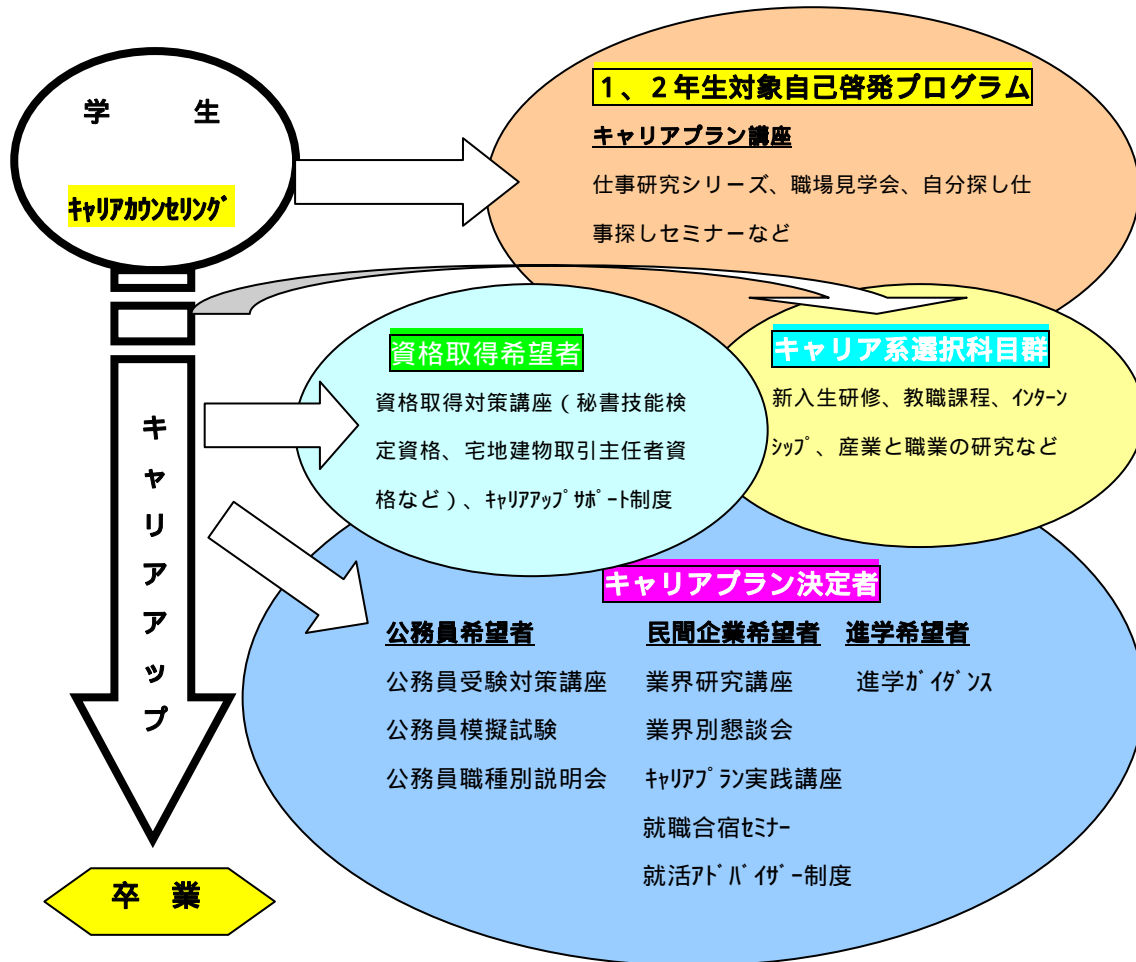
1 概要

本センターは、本学学園づくりの目標である「個性派私学」の理念を指標とし、**学生の声**を活かしたオリジナリティー重視の取組みを行っている。その目的は、学生各人の自主的なキャリア意識の啓発と能力向上にあり、新入生の段階からの多様なキャリアプログラムを実践している。

キャリアカウンセリングの実施 多様なニーズをもつ学生に対して、就職・キャリアセンターのスタッフ（10名）が日常的な個別相談を実施している。就職、進学、資格取得、およびキャリアプラン形成等の相談をはじめ、就職活動に際しての履歴書添削、模擬面接の実施、公務員試験・各種資格試験対策の相談、さらには各学科の科目履修内容についての質問対応などが日常的に行われている。こうした対応の充実のため、就職・キャリアセンターには、キャリアカウンセラー、各業界、公務員、資格等のプロがスタッフとして待機している。各人が専門分野を担当し、各種対策講座において自ら講座の講師を務めるなど、その豊かな経験と専門的知識に基づいて、学生各人の個別状況に応じた具体的できめ細かな学習指導アドバイスを行っている。



オリジナルなキャリア支援プログラムの実施 学生各人の個性と希望に応じた多様な講座を開講している。各講座実施後は参加学生に意見・感想文を提出してもらい、その内容は次回講座に反映させ、さらに改良を加えている。これによって、より学生のニーズに合った講座実現が可能となっている。主な講座の内容は、下の図と次頁の表に示した通りである。



2 オリジナルなキャリア支援プログラム

(実施経過 - 抜粋)

講座等の名称 (開始年度)	内容
就職合宿セミナー (昭和 59 年)	学生の希望と就職環境に配慮して企業の人事担当者や外部の専門講師を招き、就職活動の仕方、自己表現法、論文・作文指導、模擬面接、集団討論等を実施(年 1 回、1 泊 2 日で実施)。これらを学生に集中して疑似体験させ、実際の採用選考対策の一助としている。本年で 20 回を迎えた。本取組については、数校の大学が見学を訪れ、大学ごとにアレンジを加えて実施されている。
就職ノート(小型手帳形式) (昭和 62 年)	3 年生全員に配布している。自己分析の仕方など就職活動に必要な情報、実戦的アドバイスを満載した本学オリジナルの携帯用ノートである。変化する就職状況に対応するため、毎年改訂が行われている。実施当初から他大学からの問合せも多く、多数の大学において就職ノート作製の際の見本となっている。
ラストガイダンス (平成元年)	4 年生に対し、「社会人としての心構えやマナー」について、外部講師を招き講話を実施している。
就職活動貸付金制度 (平成 6 年)	学生が満足のいく就職活動を行えるように、就職活動に要する費用の一部を援助している(上限 10 万円。無利息、無担保で 6 カ月間貸付)。
就活アドバイザー制度 (平成 14 年)	就職活動を控えて不安や焦りをもつ 3 年生に対して、就職の内定した身近な先輩(就活アドバイザー)から就職活動の実体験を直接伝え、アドバイスする機会を提供する相談会である。
キャリアプラン実践講座 (平成 15 年)	3 年生を対象とし、自己分析法から選考試験対策まで、就職活動時期に合わせて主体的に学習する機会を与える実践参加型の講座である(月 2 回、年間 14 回実施)。
キャリアアップサポート 制度 (平成 16 年)	キャリア形成を考え、公的資格試験にチャレンジする意欲的な学生が試験に合格した場合に、目標達成の「 ミニ成功体験 」を賞賛するために奨励金(図書券)を支給し、さらなるスキルアップの励みとする。
コミュニケーション 能力アップ講座 (平成 17 年)	主として 3 年生を対象とした 3 日間の研修である。「FM 甲府」と提携し、講義と実践を通じて、コミュニケーション能力の向上と、マスコミ受験や自己表現力の求められる就職活動に備えることを目的とする。
自己実現サポート講座 (平成 17 年)	全学年を対象とした 3 日間の研修である。ゲームやグループワークなどを通じて自己分析をし、卒業後の「生涯を通じたビジョン策定とその達成」のための能力形成を目的とする。

職場見学会 民間企業、公務員の希望別にバスツアーを実施している。見学後は、学生各人の将来像が明確となり、勉学や就職活動意欲も向上しており、現実的に学生各人の**キャリア意識を啓発**している。

講座を受講した学生の感想

「職場見学会・民間コース」を受講（参加感想文より一部抜粋）

商学部 商学科 1年生

「大きな規模の会社訪問を、少ない費用で1日に3社も実現でき、たいへん有意義だったと思う。できることなら、1度だけでなく年に複数回行ってほしい。今回の職場訪問は、自分の就職を真剣に考えるきっかけとなった。今後は自分の興味のある会社を、個人的にも進んで訪問してみたいと思う。」

「職場見学会・公務員コース」を受講（参加感想文より一部抜粋）

法学部 法学科 2年生

「警視庁、都庁、消防庁はいずれも『人のため』に自分を犠牲にして働く所であると実感した。日々、人々の幸せを考えて行動している職員の姿にたいへん感動を覚えた。今回の見学で、私の将来の夢がさらに具体的なものとなり、夢に向かってのやる気がより一層強くなった。」

自分「彩」発見セミナー

この講座参加者は、ラベルワークを通して自身の個性や可能性に気づく機会を得ている。また、自身の個性を見つめ直し、ひいては、その個性や能力にふさわしい職業を見つけ出す契機となっており、3年生からの就職活動の準備に活かされている（右の写真参照）。



ラベルワークによる自己分析の様子

インターンシップ 平成元年より実施している。法学部法学科は、「司法実習」として司法書士事務所で開催している。法学部政治行政学科は、「公務実習」として主に地方公共団体で行っている。商学部商学科は、「企業実習」として民間企業で実施。経営情報学部経営情報学科は、平成元年より「企業実習」として実施していたが、平成16年から「インターンシップ」と名称変更して、引き続き民間企業で実施している。

山翡翠の会 平成7年より、毎年1回、就職・キャリアセンターが独自に実施している。関東圏、長野、静岡を中心に活躍する卒業生の懇談会であり、個々の職場の採用情報を後輩のために提供してもらっている。現役学生も参加して卒業生と交流し、先輩から直接アドバイスを受ける良好な機会となっている。

コミュニティーFM局による就職情報の提供 FM局(本学キャンパス内で開局されている)を通して、就職・キャリアセンターの職員が毎週企業のトップや人事担当者を招き、企業の最新情報や就職情報を本学の学生だけでなく、地域の方々や他大学の学生に対しても発信している（平成15年より開始。放送回数は150回を超えている）。

3 プログラムの全体図

新入生からの多様なキャリアプログラム

進路ガイダンス - 学年ごとに実施

キャリアカウンセリング



以上